

「今月の1枚」



写真 1

花序を裏側から。花の筒状の部分がぐいっと立ち上がっているのがよくわかります。花の長さは2cmほど、萼は3mmほどです。



写真 2

タネでも地下茎でもよく増える多年草。穂状の花は日向を向くとされていますが、この写真ではあっちこっち向いているようです。。

タツナミソウ（シソ科） *Scutellaria indica*

春を彩る路傍の花。四国南部の室戸岬や足摺岬では、もう満開です。

「タツナミ」とは「立浪」の意味です。穂状につく上向きの花、そして花弁の白い模様を大きく立ち上がり碎ける波に見立てたようです。

有名な浮世絵「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」のイメージですね。路傍にザバザバと10cmの小さな大波、愉快です。

（写真・文：大谷 達也 2015年4月1、2日室戸岬・足摺岬にて撮影）

（No.254 2015.4.21 掲載）